



さえずり

会長 根津 江美子
(十日町市立西小学校 教頭)

ネタ探し

理事長 上 村 弥

特別支援学級を担任するようになって3校、9年目になります。知的・情緒・肢体不自由児学級と3種の支援学級を担任しましたが、いずれの学校でも、支援学級合同の音楽の時間が週に1~2時間ありました。対象は支援学級に在籍する全員なので、今年度は1~6年生、全学年が対象です。交流学級での授業が重なっていつもいる子がいなかったり、その日の調子で来たり来られなかったりする子もいるので、実際に何人いるかは音楽室に行ってみるまでわかりません。



学習項目の書いてあるマグネットを譜面台に貼り、「今日のメニューはこうです。」「初めのメニューは『今月の歌』ね。」といった具合で授業を進めています。メニューは全部で8つ。

- | | | |
|-------------|------------|--------|
| ・今月の歌 | ・みんなで歌おう | ・手遊び歌 |
| ・踊り (身体表現) | ・リズム (打楽器) | ・ハンドベル |
| ・リコーダー (鍵盤) | ・鑑賞 | ・おしまい |

この中から4~5つを取り上げて1時間の授業を構成しています。

授業は子どもたちが混乱せずスムーズに活動できるようパターン化しておき、必ず『今月の歌』で始まり、『おしまい』(「ジェンカ」・「じゃんけん列車」・「山のおじさん(を踊る)」のどれか)で終わります。この間に3つ4つの活動を入れて、本日のメニューのできあがりです。

教科書の教材以外にもネットで使えるようなものを探します。教科書教材でもより楽しそうなもの、子どもの食いつきそうなものを探します。『今月の歌』や『みんなで歌おう』では、動画を流して一緒に歌った方が楽しいので歌詞のついた動画を探します。なければ歌詞の字幕をつけます。手話付きの動画が見つければ、子どもたちが見たとおりにそっくり手が動かせるように左右反転してから字幕をつけます。なので、字幕付きの手話動画はNGです。『踊り(身体表現)』も左右反転してから使います。「すてきな友達」を歌うときは、劇団四季の『人間になりたがった猫』で「素敵な友達」が歌われている場面の動画やカーテンコールの動画も、鑑賞として一緒に見せます。もう節操がないくらい、子どもが食いつけば何でもありです。

「みんなのうた」・「にほんごであそぼ」で使われていた動画は、子どもたちも喜んで歌ったり一緒に体を動かしたりしていましたが、著作権の関係で新しい動画はなかなかアップされず、以前アップされていたものも削除されていたりすることが多くなり、年々、ネタ探しが難しくなっています。みなさんは、どうやってネタ探しされていますか。

(えっ?! リコーダーですか。なかなか左手から先に進みません。ずっと「また あそぼ」です。)



第43回新潟県リコーダーコンテスト審査結果

(全日本コンテストへの推薦団体)

【中学生の部】

<三重奏の部>

- ・佐渡・真野中学校 「5つのディベルティメント 第4番」より

<四重奏の部>

- ・新発田・紫雲寺中学校 ミュンヘンの思い出
- ・ 同上 舞曲集「テレプシコーレ」より
- ・佐渡・南佐渡中学校 セレナード へ長調

<合奏の部>

- ・佐渡・両津中学校 小品集1 ※(銀賞受賞 審査員による全日本大会推薦)
- ・新発田・紫雲寺中学校 飛鳥の里へ
- ・佐渡・南佐渡中学校 「それはマルスの神」による変奏曲

【小学生の部】

<三重奏の部>

- ・魚沼・堀之内小学校 三重奏曲
- ・十日町・馬場小学校 テルツェッティ

<四重奏の部>

- ・十日町・東小学校 世界の5つの都市

<五重奏以上の部>

- ・魚沼・堀之内小学校 バルトークをテーマにした変奏曲

<合奏の部>

- ・十日町・馬場小学校 組曲「ホルベアの時代」より I, IV, V
- ・十日町・東小学校 日本民謡メドレー
- ・南魚沼・北辰小学校 スペイン組曲
- ・魚沼・堀之内小学校 「ミッドサマー・メドレー組曲」より I, III

【一般の部】

<独奏の部>

- ・三条・庭野宏樹 リチエルカータ 第3番



県コンテストに出場して

堀之内小学校 森山美里

堀之内小学校のリコーダー部は、6年生9名、5年生8名、4年生6名の23名で活動しています。練習日は、火曜日と木曜日の週2回です。

今年度のリコーダー部は、「自主的に活動する」をテーマに4月から練習に取り組んできました。今年の曲は、例年よりも難易度が高いために、休み時間にも子どもたちだけでペアやパート練習を行ってきました。特に6年生にとっては、最後の大会になるので、「悔いの残らない演奏をしたい」という思いがあり、自主的に練習する様子が見られました。県大会では、自分たちの納得のいく演奏ができました。子どもたちからも「音程が合っていて、悔いのない演奏ができました。」「今まで練習してきた中で、一番良い演奏ができました。」「本番は緊張したけど、みんなを信じて、先生を信じて演奏することができました。」といった感想がありました。



全国大会に向けて、子どもたちの技術面の向上ばかりでなく、心の成長を促しながら、音楽の楽しさを伝えていけたらと思っています。3月には、県大会よりもさらにレベルアップした、悔いの残らない演奏をしていきたいです。

全国大会に向けて、子どもたちの技術面の向上ばかりでなく、心の成長を促しながら、音楽の楽しさを伝えていけたらと思っています。3月には、県大会よりもさらにレベルアップした、悔いの残らない演奏をしていきたいです。



県コンテストに出場して

新発田市立紫雲寺中学校 三浦由希子

紫雲寺中学校音楽部は1年生2名、2年生8名、3年生2名、合計12名で活動しています。コンテストへ出場の他、校内で演奏会開催、地域やイベントなどで演奏活動もしています。

普段から心がけていることは、ハーモニーを意識して音程をあわせる、ブレスをそろえてみんなと一緒に演奏することです。また、曲のイメージを色や情景にたとえて演奏もします。感じ方や考え方は人それぞれでとてもおもしろいです。互



いの思いを受け止めるとともに、自分の思いも言葉や音で伝えるように心がけています。

先日の県リコーダーコンテストでは重奏2つと合奏で出場し、緊張しながら演奏しました。コンテストのCDを聴くと細かな部分でまだまだ練習が必要だと感じましたが、全日本リコーダーコンテストに出場できることとなり、本当にうれしく思います。毎年メンバーが替わる中、そのメンバーでしか出せない音作り、納得のいく演奏を目指しています。今後は聴いてくださる方に伝わるように表現力を高め、さらに完成度を上げて良い演奏がしたいと考えています。

生徒の感想

本番では、ユニゾンを聴いて合わせられたのでよかったです。チューニング室がとても響き、ステージとの差が大きくて驚きました。でも、いつも通りに演奏することができました。全国大会では、完成度を上げてもっと良い演奏をしたいです。

音楽の表現力を高めたいと思います。人に言われたからやるのではなく、みんなの気持ちをそろえて意思を持って表現したいです。

前日に体調が悪くなってしまい本番が心配でしたが、いつも通りの演奏ができて良かったです。全国大会ではより良い演奏ができるようにみんなで頑張っていきたいです。

つぶやき…

今年度、県リコーダーコンテストに出場した中学校は、佐渡の3校と紫雲寺中学校だけです。佐渡のみなさんは一緒に練習したり、互いの演奏を聴いたりする機会があったりするようで、違う学校の生徒さん同士や顧問の先生同士が仲良く話している姿をうらやましく感じています。わが紫雲寺中学の近くにはリコーダーの活動をする団体がなく、身近に交流する相手がない状況です。日常練習は顧問の自己流なので、本当に正しい練習法なのか迷いの連続です。その中でも救いだと感じるのは、顧問が参加できる夏のリコーダー研修会や季節ごとの例会です。これらの講習会に参加することで、いろいろな曲に触れたり、曲の背景を教えてもらったり、大人数での合奏を体験したり、刺激を受け、感動を味わうことができます。しかし、現在紫雲寺中生徒にはそのような機会がありません。自ら他校に声をかけてそのような機会を作ればいいのかもかもしれませんが、日々の忙しさにかまけて何も行動していないのが現状です。生徒たちにも同じようによい刺激を受け、感動する機会があれば、もっとリコーダーの魅力が広まるのではないかと考えています。そこで、例えば生徒向けの講習会、大人数で演奏する機会、またはコンテスト曲の発表会など、他校の生徒と交流する機会とかがあるととてもうれしいです。

【編集】

是非、実現していきたいですね。来年度の理事会・総会に提案していきたいと思います。



リコーダーの息づかい 最終回

～ リコーダーを使っでの練習 ～

リコーダー奏者 太田光子

新潟県リコーダー教育研究会の皆さま、こんにちは。
リコーダー奏者の太田光子です。

さて、これまで6回にわたってお話してまいりました「リコーダーの息づかい」、今回が最終回です。前々号の第5回で息のトレーニングのファーストステップについて、前号の第6回では、その補足を行ないました。

第5回で、**息のトレーニングの段階**を、次の**4段階**に分けました。

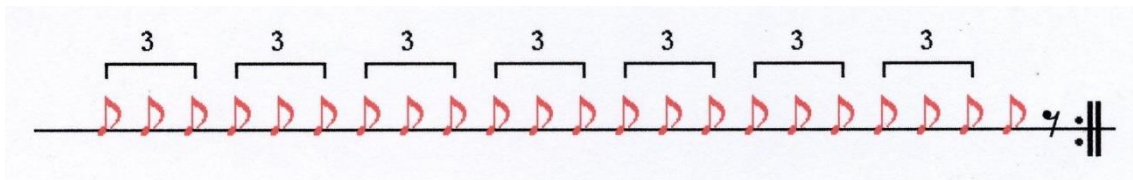
- A. 息の出し入れ
- B. Aの呼吸をリコーダーを使って行う
- C. Bで行ったものを、徐々にコントロールしていく
- D. その応用



その後、Aの「スッスッスッ！」の練習を続けてみた方はいらっしゃいますか？メトロノーム80で2分間連続してできるようになりましたか？


本日はAができるようになった前提で、**次のB以降の段階、いよいよリコーダーを使っでの練習**に入ります。アルトリコーダーをご用意ください。

- 1) 楽器を構え、指は真ん中の「ソ」（2の指孔を塞ぐ）にします。
歯は閉じず、舌も使わず、Aの時と同じくらいおなか周りが動いていることを意識し、息を吹き込んでみましょう。
Aの時と同じくらいおなか動いて息を押し出しているということは、**大変強い息**なので「ソ」よりもかなり高い音程になりますが、それでOKです。
これを、Aの時と同じく、♩=80、3連符で連続させてみてください。



前回までのAが正しくできていれば、この段階は難なくクリアできるでしょう。もしも♩=80が速すぎるように感じるのなら、**遅くてもよいので、確実にコントロールできる速度にすることが大切**です。

- 2) 次に、(1) でやったことを、**音と音の間を繋げながら行って**みましょう。

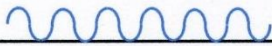
 → 同様に続ける。

波形の、上側は息の最も強いところ、下側は最も弱いところを表しています。

ある意味、**幅のとても大きな、規則的なヴィヴラートのよう**になります。

やはりこの段階でも、**強い部分は「ソ」の音よりもはるかに高い音程に、弱い部分はそれよりも低い音程**になります。

3) 次に、揺れ幅を少し小さくしてみましょう。



この時、おなか周りはAの時ほどは動かなくなります。ただ「第3回」の図1でお話したような**適度な緊張感**があるはずです。※さえずり H28-2号、p.5 参照

4) さらに揺れ幅を小さく。

かすかに音が揺れているくらいの、ほんの小さな揺れ幅です。

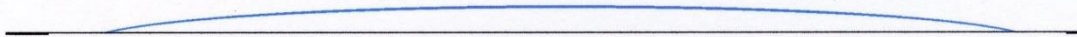


以上を、メトロノームでJ=108を目指して徐々に速くしつつ練習してみましょう。

一つの練習の中で波が強くなったり弱くなったりしないよう、**揺れ幅を一定に保つこと、3連符のリズムが均等で規則的**であること、Aで行った練習の時に感じた、**おなか周りの緊張感はいつも意識**していること、**以上3点に注意**して練習してみてください。

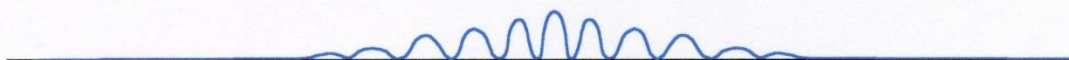
特に(3)や(4)の揺れ幅が小さくなっている段階では、揺れ幅が全く同じになるようにコントロールするのは、大変難しいです。

5) (4)までできるようになったら、次のような**滑らかな弧を描くロングトーン**を練習しましょう。この時、音程はほんのかすかにしか変わりません。



「揺らすこと」をコントロールできたら、「**揺らさないこと**」のコントロールも、かなりできるようになっているはずですよ。

6) (5)の途中で、今回の3~4あたりのレベルの揺れ幅を使って、徐々に揺らし、また徐々に揺れを収束させてみましょう。



この時も、音の揺れ幅が急に強くなってしまったり、急に弱くなったりしないようにコントロールします。

これらができるようになると、音を安定させるのも、ヴィヴラートをかけるのも、**自由自在にコントロール**できるようになり、**実際に曲の中で音楽的に必要だと思**う時に使えます。

今回ご説明した練習ができるようになるまで、数か月～数年かかるかもしれませんが、**ぜひ続けてみてください**。これができるようになる頃には、第1回のイントロダクションでお話しした息のお悩み、

- ・ 曲の終わりの音がどうしてもゆれてしまう。
- ・ かけたくないのに、ビブラート（らしきもの）がかかってしまう。
- ・ 同じ楽器を吹いても、自分の音はなんだかへなへなと弱々しくなってしまう。
- ・ その解決策として息をたくさん吹き込んでみたら、雑音の多い汚い音になってしまう…。

は、もう解決されていることでしょう。

第1回の時にもお話ししました通り、リコーダーの勉強を専門的に始めた高校生の頃は、息が全く安定せず、終止音が揺れに揺れてへなへなでした。でも**この練習で、私は息のコントロールができるようになりましたし、今現在レッスンで教えている生徒も、きちんとトレーニングを続ける人は成果をあげています**。

みなさまのリコーダーの演奏に、少しでもお役に立てることを願っています。
GOOD LUCK!!

2018新潟クラシックストリートに向けて練習を開始しました

ラ・フォル・ジュルネが中止になりましたが、クラシックストリートは例年通り開催されると連絡をいただき、新潟県リコーダー教育研究会有志の合奏団も、本番に向けて練習を開始しました。今回は、11人集まってくださいました。佐藤弥生さん、阿部光宏さん、都築朝吉さんが新たに加わって下さいます。

5月5日が本番です。1ステージ30分の演奏が、複数の演奏者によって、新潟市のいくつかの場所で行われます、詳しくは、「2018新潟クラシックストリート(第8回)のHP」をご覧ください。聴きに來てくださいませよう、お願いいたします。

- ・ 演奏予定曲…W.A.モーツァルト／ディベルティメント 第11番より
 - ① 第1楽章 アレグロ・モルト
 - ② 第2楽章 メヌエット
 - ③ 第6楽章 ロンド(アレグロ・アッサイ)
- …B.バルトーク／ハンガリーの風景より（亀貝隆 編曲）
 - ① トランシルバニアの夕暮れ
 - ② 豚飼の踊り
- ・ 演奏者…皆川昌雄・神田成一・樋熊三津男・杉本優子・前田英也・小池純夫・亀貝隆・佐藤弥生・上村弥・阿部光宏・都築朝吉



<<編集後記>>

3号は、コンテスト特集です。金子・太田先生の審査講評を入れられませんでした。(;>_<)

出場者数が減少の一途をたどっています。今回は、優秀な演奏が多かったので、審査の先生方がとても悩まれたことが印象的でした。数が少なくなって良い演奏が増えたということは、全体のレベルが向上しているということです。全日本に推薦された皆様、本番は、「音楽的な演奏」「審査の先生が審査票書きのペンを置いて、つい聴き入ってしまうような演奏」を目指し、リラックスして演奏・指揮ができると良いですね。

太田先生の「息づかいについての講座」は、今回で最終回とさせていただきました。次回から新たなテーマをお願いしようかと思っています。皆さんからの要望がありましたら、是非、下記までお寄せください。テーマ・理由・具体的な要望・悩み等をいただくと有り難いです。

宜しく願い致します。

◆ 投稿・問い合わせ等は、こちらにお願いします>(*^。^*)

mitu3tu@gmail.com / 080-3322-1776 です。編集 [樋熊 三津男]

広報主任・副理事長：吉村智宏 / ホームページ：児玉禎明 / さえずり編集：樋熊 三津男

